

北海道学び推進月間の取組

胆振教育局
平成30年12月18日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の育成を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。その中から特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考にしてください。

○ 北海道春の学び推進月間の取組（苫小牧市立啓明中学校）

学校経営のグランドデザインに「確かな学力の保証」を掲載

苫小牧市立啓明中学校では、学校経営のグランドデザインに「確かな学力の保証」を位置付け、全校で授業改善等に取り組んでいます。特に、補充的な学習・学習環境の整備において、KKT（啓明学力向上テスト）の取組を行うとともに、学習環境の質的向上を図るために年2回の学習アンケートを実施しています。

KKTの実施は、問題を各学年の教師が作成し、週1回（金曜日）、朝読書の時間にミニテスト形式で行い、生徒自身で採点します。学習アンケート結果から、事前にテスト問題を配付することにより、家庭学習でも学習している生徒数が過半数いることが分かり、定期的な振り返りが基礎学力の定着につながっていると考えています。



【啓明中のグランドデザイン】

○ 北海道秋の学び推進月間の取組（苫小牧総合経済高等学校）

国際理解教育とキャリア教育を関連付けた取組

本校生徒の英語力に対する「今できること」「必要な力」「目標」を明確にし、教科担任及びALTで生徒の成長をフィードバックしながら、生徒の意欲に対応した教材を精選し、授業改善を行っています。また、キャリア教育と英語力向上を組み合わせることで、学校での学びと自己の将来の関係に気付かせ、学習意欲の向上を図っています。

3学年の課題研究では、英語の授業と商業科の内容を教科横断的に連携させ、新千歳空港で外国人観光客に対して英語でアンケートを実施しました。今後は商業科の高校として、英語での接遇に関する知識が必要になると考え、日本のホスピタリティ精神を育成し、海外向けの効果的な販売促進等についての学習を取り入れたいと考えています。



【新千歳空港でのインビューの様子】

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 苫小牧市立緑陵中学校3年 川又由依さん

「知識から 心やそう未来の 選択肢」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 登別明日中等教育学校2年 川崎 梢さん

「見てみたい 学びの先の 可能性」

白老町立白老中学校 2年 高野 凜さん

「勉強は 自分の未来の ためにある」

壮警町立久保内小学校6年 谷田 乃々花さん

「身につけよう 未来をひらく 学びの力」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。